

【内容目標】 増減表から最大・最小を読み取ろう！

例題 6) 次の関数の最大値，最小値を求めよ。

$$y = (1 + \sin x)\cos x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$$

積の微分法

解答

$$y' = \cos x \cdot \cos x + (1 + \sin x) \cdot (-\sin x)$$

$$= \cos^2 x - \sin x - \sin^2 x$$

$$\cos^2 x = 1 - \sin^2 x$$

$$= -2\sin^2 x - \sin x + 1$$

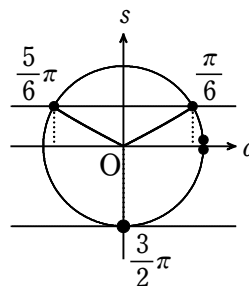
$$= -(2\sin x - 1)(\sin x + 1)$$

$0 < x < 2\pi$  において， $y' = 0$  となる  $x$  の値は

$$-(2\sin x - 1)(\sin x + 1) = 0 \quad \text{より}$$

$$\sin x = \frac{1}{2} \quad \text{または} \quad \sin x = -1$$

$$\text{より} \quad x = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi, \frac{3}{2}\pi$$



$y$  の増減表は次のようになる。

$x$	0	.....	$\frac{\pi}{6}$	.....	$\frac{5}{6}\pi$	.....	$\frac{3}{2}\pi$	.....	$2\pi$
$2\sin x - 1$		-	0	+	0	-		-	
$\sin x + 1$		+		+		+	0	+	
$y'$		+	0	-	0	+	0	+	
$y$	1	↗	極大 $\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↘	極小 $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↗	0	↗	1

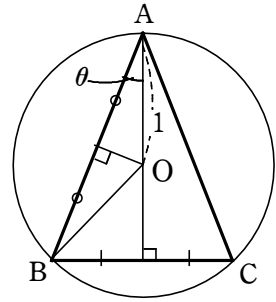
よって， $y$  は

$$x = \frac{\pi}{6} \text{ で最大値 } \frac{3\sqrt{3}}{4}, \quad x = \frac{5}{6}\pi \text{ で最小値 } -\frac{3\sqrt{3}}{4}$$

をとる。

# 微分法の応用【関数の最大・最小】 p.180

**例題)**  $AB=AC$ ,  $\angle BAC=2\theta$  である二等辺三角形  $ABC$  が、半径 1 の円  $O$  に内接している。 $\theta$  が変化するとき、この三角形の周の長さの最大値とそのときの  $\theta$  の値を求めよ。



**解答**  $\triangle ABC$  において  
 $AB=AC=2OA\cos\theta=2\cos\theta$   
 $BC=2AB\sin\theta=4\sin\theta\cos\theta$

$\triangle ABC$  の周の長さを  $y$  とすると

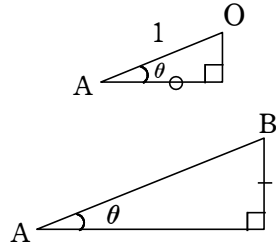
$$y=4\cos\theta+4\cos\theta\sin\theta \quad \left(0<\theta<\frac{\pi}{2}\right)$$

積の微分法

$$\cos^2\theta=1-\sin^2\theta$$

よって

$$\begin{aligned} y' &= -4\sin\theta+4(-\sin^2\theta+\cos^2\theta) \\ &= -4\sin\theta+4(1-2\sin^2\theta) \\ &= -4(2\sin^2\theta+\sin\theta-1) \\ &= -4(2\sin\theta-1)(\sin\theta+1) \end{aligned}$$

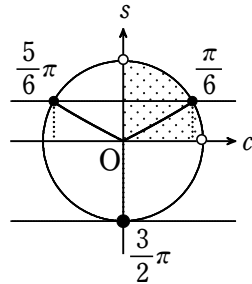


$$y'=0 \text{ となるのは } \sin x = \frac{1}{2} \text{ または } \sin x = -1$$

$$0 < \theta < \frac{\pi}{2} \text{ なので, } \theta = \frac{\pi}{6} \text{ のときである。}$$

また、 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$  において、 $y$  の増減表は次のようになる。

$\theta$	0	.....	$\frac{\pi}{6}$	.....	$\frac{\pi}{2}$
$2\sin\theta-1$		-		+	
$\sin\theta+1$		+		+	
$y'$		+	0	-	
$y$		↗	極大 $3\sqrt{3}$	↘	



したがって、 $y$  は  $\theta = \frac{\pi}{6}$  で最大値  $3\sqrt{3}$  をとる。

## 微分法の応用【関数の最大・最小】 練習問題

---

練習13) 次の関数の最大値, 最小値を求めよ。

(1)  $y = (1 + \cos x)\sin x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$

(2)  $y = \frac{4-3x}{x^2+1} \quad (1 \leq x \leq 4)$

微分法の応用【関数の最大・最小】 練習問題

---

節末問題 5) 次の関数の最大値, 最小値を求めよ。

(1)  $y = x\sqrt{4-x^2}$  ( $-1 \leq x \leq 2$ )

(2)  $y = x + \sqrt{4-x^2}$

微分法の応用【関数の最大・最小】 練習問題

練習13) 次の関数の最大値, 最小値を求めよ。

(1)  $y = (1 + \cos x) \sin x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$

(2)  $y = \frac{4-3x}{x^2+1} \quad (1 \leq x \leq 4)$

解説

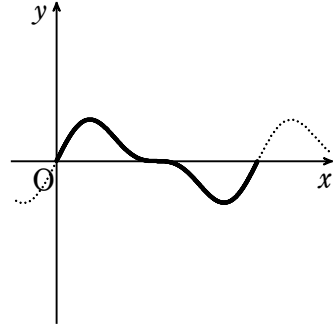
(1) 
$$\begin{aligned} y' &= -\sin x \cdot \sin x + (1 + \cos x) \cos x \\ &= \cos^2 x - 1 + \cos x + \cos^2 x \\ &= 2\cos^2 x + \cos x - 1 \\ &= (2\cos x - 1)(\cos x + 1) \end{aligned}$$

$0 < x < 2\pi$  において,  $y' = 0$  となる  $x$  の値は  
 $2\cos x - 1 = 0$  または  $\cos x + 1 = 0$

より  $x = \frac{\pi}{3}, \frac{5}{3}\pi, \pi$

$y$  の増減表は次のようになる。

$x$	0	.....	$\frac{\pi}{3}$	.....	$\pi$	.....	$\frac{5}{3}\pi$	.....	$2\pi$
$y'$	/	+	0	-	0	-	0	+	/
$y$	0	↗	極大 $\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↘	0	↘	極小 $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$	↗	0

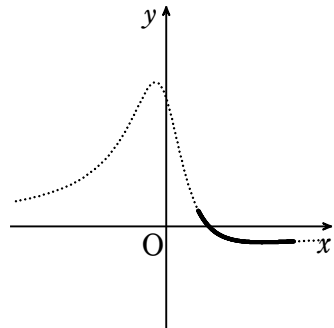


よって,  $y$  は  $x = \frac{\pi}{3}$  で最大値  $\frac{3\sqrt{3}}{4}$ ,  $x = \frac{5}{3}\pi$  で最小値  $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$  をとる。

(2) 
$$\begin{aligned} y' &= \frac{-3(x^2+1) - (4-3x) \cdot 2x}{(x^2+1)^2} \\ &= \frac{3x^2 - 8x - 3}{(x^2+1)^2} = \frac{(3x+1)(x-3)}{(x^2+1)^2} \end{aligned}$$

$1 < x < 4$  において,  $y' = 0$  となる  $x$  の値は  $x = 3$   
 $y$  の増減表は次のようになる。

$x$	1	.....	3	.....	4
$y'$	/	-	0	+	/
$y$	$\frac{1}{2}$	↘	極小 $-\frac{1}{2}$	↗	$-\frac{8}{17}$



よって,  $y$  は  $x = 1$  で最大値  $\frac{1}{2}$ ,  $x = 3$  で最小値  $-\frac{1}{2}$  をとる。

## 微分法の応用【関数の最大・最小】 練習問題

節末問題 5) 次の関数の最大値, 最小値を求めよ。

(1)  $y = x\sqrt{4-x^2}$  ( $-1 \leq x \leq 2$ )      (2)  $y = x + \sqrt{4-x^2}$

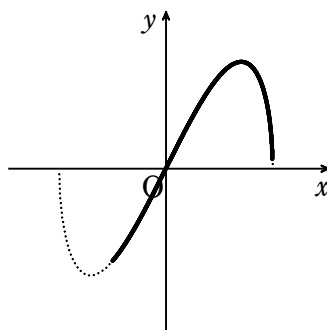
解説

(1) 
$$y' = \sqrt{4-x^2} + x \cdot \frac{-2x}{2\sqrt{4-x^2}} = \frac{2(2-x^2)}{\sqrt{4-x^2}}$$

$-1 < x < 2$  において  $y' = 0$  となる  $x$  の値は  $x = \sqrt{2}$   
 $y$  の増減表は次のようになる。

$x$	-1	.....	$\sqrt{2}$	.....	2
$y'$	/		+	0	-
$y$	$-\sqrt{3}$	↗	極大 2	↘	0

よって,  $y$  は  $x = \sqrt{2}$  で最大値 2,  
 $x = -1$  で最小値  $-\sqrt{3}$  をとる。



(2) 関数の定義域は,  $4-x^2 \geq 0$  より  $-2 \leq x \leq 2$

$-2 < x < 2$  において 
$$y' = 1 + \frac{-2x}{2\sqrt{4-x^2}} = \frac{\sqrt{4-x^2} - x}{\sqrt{4-x^2}}$$

$y' = 0$  となる  $x$  の値は,  $\sqrt{4-x^2} = x$  より  $x = \sqrt{2}$   
 $y$  の増減表は次のようになる。

$x$	-2	.....	$\sqrt{2}$	.....	2
$y'$	/		+	0	-
$y$	-2	↗	極大 $2\sqrt{2}$	↘	2

よって,  $y$  は  $x = \sqrt{2}$  で最大値  $2\sqrt{2}$ ,  $x = -2$  で最小値  $-2$  をとる。

